

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2020年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、日本デフ陸上競技協会規則、及び本大会競技注意事項による。

2 練習会場及び練習について

練習は係員の指示及び各校監督の指導の下、事故防止に万全を期して行うこと。

(1) 練習会場及び練習時間

練習会場：駒澤オリンピック公園総合運動場陸上競技場

	メイン競技場	
10月3日 (土)	8:00~9:15 トラックのみ開放	9:15~15:00 バックストレートのみ開放

(2) メイン競技場の練習について

- ①トラックのレーンの使用区分は、周回1・2レーンは中長距離及びジョギング。周回3レーン及びバックストレート3~8レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離。ホームストレート5・6・7・8レーンは、光刺激スタートシステム及びスターティングブロックを使った練習を行う。
②上記以外のフィールド内芝生上は、使用不可とする。

※周回競技、跳躍競技を実施している場合は、出発係・マーシャルの指示に従うこと

3 TIC(テクニカルインフォメーションセンター)について

(1) 各種様式受付、競技・ルールに関する質問等に関する事項についての競技者案内所として、テクニカルインフォメーションセンター(以下、TIC)を設置する。

(2) TICは、競技場正面玄関正面プロムナードに設置する。

(3) TICの業務は以下の通りとする。

- ① 競技に関する質問、抗議・上訴申請書の提出
- ② 欠場、2種目同時、リレーオーダー用紙の連絡、提出
- ③ 持ち込み用具の受付(投擲物の検査受付)
- ④ 選手受付、賞状メダル受け渡し(※感染症対策のため)

5 招集について

(1) 競技者招集所は、100mスタート付近スタンド下に設置する。

(2) 各種目招集開始時刻・完了時刻は、その競技の開始時刻を基準とし次のとおりとする。
なお、予選・準決勝・決勝の全てに適用する。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前
手 順	招集所で競技者係による点呼及び胸・背のナンバーカード、腰ナンバー標識(トラック競技)、シューズの確認を受けて待機する。	招集所から係員の誘導により、競技場へ入場する。

(3) 留意事項

- ① 出場予定の競技種目を欠場する場合は、欠場届用紙に記入し、招集開始時刻までにTIC(テクニカルインフォメーションセンター)に提出する。用紙は大会受付時に各校へ配布する必要書類一式に付帯するとともに、TICにも置く。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理をする。
- ③ 2種目以上を兼ねて出場する競技者で、競技時間が重なる場合は、その旨を本人または代理人がTICに報告する。

- ④ リレー競技に出場するチームは、予選・決勝ともオーダー用紙に必要事項を記入の上、招集開始時刻1時間前までにTICに1部提出する。用紙はTICにも置く。オーダー用紙提出後のメンバー変更については、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認めない。
- ⑤ リレー競技では、同一のユニフォームを原則とする。
ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ⑥ リレー競技のマークは、各チームで準備する。使用したマークは、バトンを渡し終わった選手が責任をもって回収する。
- ⑦ 準決勝、決勝における競技のスタートリストは、番組編成終了後、インターネット速報及び、掲示板に

6 競技場への入退場について

競技場への入場は、全て係員の指示誘導による。また、退場は下記のとおりとする。

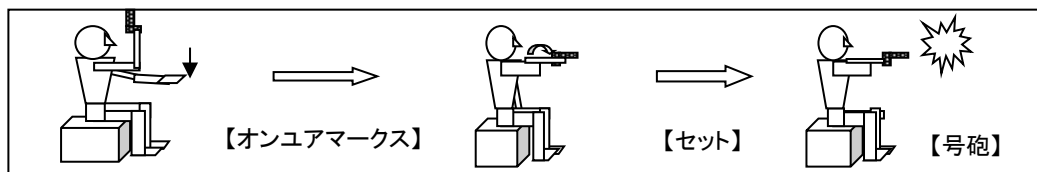
- (1) **トラック競技の競技者の退場は、フィニッシュラインに到着後、着替え等の荷物を各自の出発地点へ取りに戻り、競技の妨げにならないように退場する。ただし、100mについては、出発地点からフィニッシュラインに係員が選手の荷物を運搬するため、選手はフィニッシュラインに到着後荷物を受け取りそのまま退場する。**
- (2) トラック競技決勝種目出場の競技者の退場は、係員の指示誘導に従う。(選手待機所から表彰者控所へ係員誘導)
- (3) フィールド競技の競技者の退場は、係員の指示誘導に従う。(トップ8の選手:表彰者控所へ係員誘導)

7 各競技の組み合わせ及び走路順、試技順について

- (1) トラック競技の組み合わせ及び走路順、また、フィールド競技の組み合わせ及び試技順は主催者が公平に抽選をして決定する。
- (2) 予選におけるトラック競技の走路順、また、フィールド競技における試技順は、プログラムの各競技者左側に記載の番号順どおりとする。
- (3) トラック競技の準決勝以降の競技組み合わせ及び走路順・試技順は、主催者が規定に従って決定し、記録掲示板に掲示する。

8 スタートについて

- (1) スタートコールは、イングリッシュコマンド(オン・ユア・マークス セット)で行う。
- (2) スターターの動作は、下記のとおりで行う。



- (3) 不正スタート(フライング)は、1度の不正スタートでも、責任を有する競技者は失格となる。
- (4) **トラック種目については、すべて「光刺激スタートシステム」を採用する。**
使用詳細については、下記のとおりとする。
 - ①「オンユアマークス」…赤、「セット」…黄、「号砲」…緑とする。
 - ②選手は、システムの使用・不使用を選択することができる。
(不使用の場合は、システムをレーンナンバーの後方へ移動する。)
 - ③**システムが正常に動作しなかった場合は、直ちにピストルを鳴らしレースを中断させる。**その後、システムの故障、不具合により使用の継続ができない場合は、そのレースより使用を禁止し、従来通りの(目視)スタートへ変更する。ただし、システムが復旧した場合は再使用する。

9 トラック競技の準決勝・決勝に進むプラスアルファの決定について

- (1) 原則として全競技写真判定(1/1000秒)の記録順による。
- (2) 予定されたプラスアルファの人数を上回って、(1)で判定できない同記録が出た場合は、
 - ①写真を拡大し1/1000秒単位をもって判定する。
 - ②それでも判定できない場合は、本人または代理人によって抽選し決定する。
 - ③レーンに余裕がある場合、同タイムの競技者は全員次のラウンドに進める。

10 トラック競技について

- (1) トラック及びフィールド内には、その競技を行う競技者並びに役員(審判員及び競技補助員)以外は立ち入ることができない。
- (2) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走って終了すること。
- (3) 100m、110mH、100mHの競技者の衣類は、フィニッシュ地点付近に運搬する。
- (4) 一般男女10000m、一般男女・高校男5000m決勝については、男女同時スタートで実施する。
なお、10000m・5000m・3000mについては、審判長の判断で給水ポイントを設ける。

11 フィールド競技について

- (1) フィールド競技の決勝においては、男女とも同時に行う。
- (2) 競技場所において、競技開始前に行う練習については、常に審判員の監督の下で練習を行う。(投てき競技では、あらかじめ決められた試技順で行う)
- (3) 走高跳のバーの上げ方は下の表を基準とするが、天候等の状況により審判長が判断する。また、マーカーは各校で用意し、終了後、撤去する。

区分	練習	競技におけるバーの上げ方
高校 男子 一般	140cm	135-140-145-150-153-156-159- 以降 3cmずつ
	150cm	
	170cm	
高校 女子 一般	120cm	115-120-125-130-133-136-139- 以降 3cmずつ
	130cm	
	140cm	

※ 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは2cmずつとする。

- (4) 走高跳は、1ピットを使用する。
- (5) 走幅跳は、メインスタンド側Aピットを使用する。
- (6) 三段跳は、メインスタンド側ピットを使用し、踏切板を競技レベルに合わせて2ピットを準備する。選手はどちらか一方のピットを選択したら、以後変更することはできない。
- (7) 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。但し、持参した用具の使用を希望する者は検査を受け使用許可を得ること。また、許可された用具は他の選手にも使用させねばならない。
- (8) 走幅跳・三段跳・棒高跳、及びやり投に参加する競技者は、助走路の外側に主催者の用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、走高跳については個人で準備したマーカーを2個まで置くことができる。

12 競技用シューズについて

靴底の厚さについては、WA規則第143条のルール再改定の内容に従う。スパイクは全天候型のピンを使用。本数は11本以内とし、長さは9mm以下のピンを使用とする。ただし、走高跳とやり投においては、長さを12mm以下とする。ピン先端の直径は4mm以下とする。

13 ナンバーカード及び腰ナンバー標識について

- (1) ナンバーカードは、主催者が準備して受付時に配布する。
- (2) ナンバーカードは、ユニフォームの胸部と背部に付ける。
- (3) 走高跳、棒高跳びに出場する競技者は、ユニフォームの胸部または背部だけでもよい。走り幅跳び、三段跳びに出場する競技者は胸部だけでもよい。
- (4) 腰ナンバー標識(シール式)は、トラック競技に出場する選手が使用する。競技者招集場所で競技者係から配布されるので、その場でランニングパンツの右側につける。

14 助力について

- (1) 競技規則144条に従う。また、当該競技を行う競技者以外はトラック・フィールド内に入らない。また、競技に出場する競技者は、携帯電話等通信機器、ビデオカメラ、音楽プレーヤー等を競技場内に持ち込むことはできない。
- (2) 監督・コーチが撮影した映像を競技中に選手に見せることは認めない。

15 抗議について

- (1) **競技規則146条に従う。**競技の結果また行為に関する抗議は、その競技の結果の正式発表後30分以内に、また、次のラウンドが行われる種目では、結果の正式発表後15分以内に各チーム代表からTICに申し出る。
- (2) ジュリーに上告する場合は、審判長によってなされた決定の公式発表から30分以内に、文書と預託金10,000円を添えなければならない。

16 入賞について

各種目とも決勝の3位までを入賞とする。ただし、2名出場の場合は1位のみメダルと賞状を、3名出場の場合は1位と2位にメダルと賞状を授与する。

17 表彰について

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため表彰は行わない。結果発表後概ね40分後にTICにてメダルと賞状を入賞者に授与する。

18 その他

- (1) **リザルトはすべてインターネット記録速報ページにて発表する。**
- (2) **救急・救護に関する処置は、原則としてメインスタンド下の医務室で応急処置までは行うが、それ以降の責任は負わない。**
- (3) 競技者の更衣は、メインスタンド下の男女各更衣室を利用する。なお、更衣室に荷物を置いたままにしないこと。
- (4) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので、衣類や物品、貴重品の管理については各自で責任をもって管理すること。置き引き、盗難等が発生しても主催者側は一切責任を負わない。
- (5) 競技場内に取り付ける横断幕及びのぼり旗等については、メインスタンド内に取り付けて構わない。(取り付け禁止の場所はない。)